

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	人間の尊厳を基本に地域の特性を重視し、地域の方々の力を借りながら共に豊かで楽しく生きがいの持てる暮らしを実現する事を目標としている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員はよく話し合い、同じ目的を持ってケアが出来る様協力し合っている。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会や地域の方を交えた運営推進会議を定期的に行ない、日々の生活を理解して頂いている。広報誌の発行・配布もしている。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム周辺が地域の方々の散歩コースになっており言葉を交わす機会が多い。また玄関に休憩用のベンチを設置し、案内用のポスターを張り、ホームに気軽に立ち寄って頂ける様にしている。	○ 散歩や行事参加等で、更に地域の方々とふれあいが持てるよう考えていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進委員である民生委員・老人会の方々へ地域行事の連絡をお願いしている。(昨年は地域の夏祭りに参加)また近所の幼稚園の行事(運動会や卒園式等)に参加した。現在、法人として地域自治会へ準会員として加入している。	

岐阜県 グループホーム大洞岐協苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	行事等があれば地域の方々にも参加して頂いている。地域交流室では地域の方のサークル活動の場として提供し、いつでも気軽に利用出来る様施設開放している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価のビデオで理解し、指摘を受けた事については会議で話し合い改善に努めている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	パワーポイント（スライドショー）を使用したり、利用者にも会議に参加してもらったりと、生活の様子を更に理解して頂ける様努めている。頂いた意見は行事の計画の参考等にしている。	○	会議の記録には職員全員目を通し（捺印）スタッフ会議で話し合い意見を反映している。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会あるごとに市と連携し、サービスの質の向上に努めている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は研修等に参加し、対象者へ相談・助言等をさせて頂いている。	○	研修等に参加し理解を深めたり、スタッフで勉強会を行なう予定。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や研修等で職員全員が周知するようにした。また、虐待がないよう管理者やリーダーは常に注意し、防止の徹底に努めている。		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書をお渡しする時点で、それに添って十分な説明を行なっている。また、利用者や家族等に不安がないよう話し合いの機会を持ち、他の事業所とも連携を図っている。</p>	○	<p>年度変わり等には契約内容を確認し、見直す点がないか話し合う。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>特に入浴では利用者と1対1になり、リラックス効果もあって様々な話が聞ける。重要な意見は報告し活かしている。また月次報告書にて家族にも報告する機会を得ている。</p>	○	<p>利用者との懇談会を行い意見や不満、苦情を言ってもらえるようにしたい。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月の月次報告書（健康状態、プラン実施状況、預かり金残高等）にて把握して頂いている。急な体調の変化はその都度連絡を取っている。</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>年2回家族会を開催している。入り口には無記名での意見箱を設置し、また面会カードにも意見や要望が記載出来る様にしている。</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>事業責任者会議や職員会議にて十分に意見を聞き検討する機会を設けている。またその都度職員の話聞き対応している。</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>併設型である為職員の応援が得られ、申し送りにて特養との連携を図っている。また必要時対応できるよう話し合い、勤務体制を組んでいる。</p>		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が入れ替わる場合は、利用者やその家族に不安がでない様十分話し合い検討している。また月次報告書や家族会で『他部署での経験が活かせる』点を長所として伝えている。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内での苑内研修やホーム内での学習（資料文献の配布・本の回覧）をし、また、認知症介護基礎研修等を順次受講している。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協議会や支部会等に参加し交流する機会を得ている。	○	同業者同士の交流をもっと深め、視野を広く持ちサービスの質の向上に努めたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	業務の時間外に親睦会（宴会や旅行）を年に数回開き、悩みやストレスが少しでも軽減されるよう配慮している。また、悩みを訴えたり相談しやすいよう管理者は個別面談を実施している。	○	スタッフ会議にて活発な意見交換もあるが今後は、更に悩みを訴えたり相談しやすい環境をホームで作っていききたい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	サークル活動は各職員が自分の得意分野でリーダーとなり進めている（園芸、お菓子作り等）。また今年度より資格手当での支給が設けられた。		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	バックグラウンドアセスメントをベースに、面接時には家族と離れた場所で話を聞いている。またホーム以外のケアマネジャーとの連携も重要視している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	23と同様に家族のみと話す時間を設けている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホーム以外のケアマネジャーと連携し相談の内容に応じた対応している。現在他事業所の有償移送サービスを利用している。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設のデイサービス・ショートステイの利用や常時ホームの見学を歓迎している。また前サービス担当者から情報をもらったり事前面接時に家族と十分に検討している。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活を通し、料理のひと工夫や漢字・言葉を尋ねる機会が多い。回想法からもしきたりや文化を教わっている。	

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	月次報告書により情報を共有し、家族が面会で来苑した時は必ず声を掛けコミュニケーションを図っている。(個別に悩みの相談も受けた事がある) また受診は家族に依頼し健康状態を双方で把握している。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	大きな行事(納涼祭、運動会、文化祭)の案内を出し一緒に参加して頂いている。家族会の実施。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人に年賀状や絵手紙を出したり『ふるさと訪問』として買い物帰り等に家や思い出の場所へドライブに行っている。	○	更にふるさと訪問を増やし、馴染みのある関係が途切れないように支援したい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気が合う方、合わない方を把握し、食事の席や行事参加等配慮している。また、スタッフが間に入る事により良い関係を築いている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	併設である特養入所となった利用者は、職員が時折会いに行き、話し相手や食事介助等を行っている。また、行事等があった場合には、ホーム利用者との交流もある。	○	契約終了後も利用者や家族の方と、文書等交流を持ちたい。

岐阜県 グループホーム大洞岐協苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常に会話を大切にし、関わりの中で感情や意向が把握できるよう努めている。そこからスタッフ会議等で気付いた事を話し合っている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	バックグラウンドアセスメントや回想法、利用者やその家族との会話の中で情報を収集している。また前サービス担当者からも情報を得ている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活状況や気づきを、日誌や個別介護記録表に毎日記載しスタッフ全員が把握している。またカンファレンス等で話し合い、ケアにつなげている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスを開催し、利用者本位でありスタッフ全員が分かり易く共有できるようなプランを目指し作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態変化に応じその都度カンファレンスを行い、プランを立て直している。また、見直し時期を担当者が把握できるよう、ボードに掲示している。	

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	入所面接時に家族、本人、関係者と十分に直接話し合う。また、バックグラウンドアセスメントに基づき極力希望に添える様努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護に関する基本方針を玄関に掲示し、ご家族の方に個人情報・肖像権に関する確認書に署名捺印を頂いている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	「何が食べたいか」「どこへ行きたいか」その都度利用者に聞いている。これを活かし外食やドライブへ行っている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	余暇時間には幾つかやりたいことを用意、選択して頂き提供している。しかし参加の声掛けを辞退される場合は強要しない。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎朝整容の時間を設け簡単なお化粧をして頂いている。また、就寝前は蒸しタオルでの整容を行っている。	○	最近減ってしまったハンドマッサージやネイル（ネイルは自らの選択）の時間を作りたい。

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食の片付けや昼・夕の食事作りは全て利用者と一緒にこなしている。毎日の中からお米研ぎや食材切り、食器洗い等分担の形も生まれた。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在喫煙、毎日飲酒希望者はいないが、特別な日（誕生日や行事等）には皆さんにお酒類を提供し、気分を味わってもらっている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	現在トイレ誘導担当者二名（内一名紙パンツ使用）失禁パンツ使用者二名（朝・夕汚染確認）となっている。排泄パターンを把握しその都度行なっている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その方に応じた間隔で入浴して頂いている。（一日おき・二日おき）また、希望されれば体調に考慮しつつ入浴して頂いている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	午後からは余暇時間を設け、自由に過ごして頂いている。夜間寝付けない利用者には、夜勤者が会話や飲み物の提供をし入眠を促している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活の中で役割は自然と決まり、それに合わせた援助を行っている。また、縫い物や金魚の世話等得意な事や好きな事をして頂く様提供している。		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在全員の方のお金は職員側で管理しているが、必要に応じて自由に出し入れして頂ける様になっている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望があれば買い物と一緒に出掛けている。帰宅・外出願望の強い意志が声掛け等にも落ち着かない時は苑内・外を一緒に歩いている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年二回（春・秋）の遠足やミニドライブ等機会を設けている。	○	家族の方にも、外出時参加して頂ける様支援をして行きたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	絵手紙サークルで描かれたはがきを使い、家族や友人へ送って頂いている。年始には年賀状も出して頂いた。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に来られた時は必ずコーヒーや日本茶をお出しし好きな場所で過ごして頂いている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	苑内研修や身体拘束検討会議等に参加し、職員全員が意識改革出来る様努めている。身体拘束はあってはならないが、利用者に心身の危機がある場合は、家族と相談し同意を得て行なう場合もある。		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> <p>家族会を開き必要な説明を行なっている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>毎朝の検温、週二回の看護師による検圧、月一回の体重測定その他、食事・排泄確認や入浴時の状態をADL記録ノートに記入している。併設の特養にも夜勤申し送りの連絡をし情報を共有。また、夜間緊急時には特養の夜勤者と連携をとり速やかに対応している。</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>利用者全員の服薬説明書を一冊のファイルにまとめ、職員全員が把握出来る様にしている。個人ファイルにもコピーして閉じている。</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>毎朝ビデオ体操に取り組んだり市販の食物繊維食品や乳製品を多く取り入れている。(毎朝のティータイムではカフェオレを提供)</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>昼食後・就寝前の口腔ケアの徹底。</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>摂取量を記録しその方に応じた量を提供。管理栄養士に献立表を見てもらい栄養バランスの指導も受けている。また、月一回の体重測定を行なっている。</p>	○	新しいBMIの表を作成したい。

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防接種を家族にお願いしている。また感染症予防対策検討会議に参加。手洗い・うがいを徹底している（マニュアル有り）		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生表を作成し、消毒や整理がいつ・誰が行なったか分かる様にしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ベンチやテーブルを設置し、緑に囲まれた玄関となっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂のテーブルやベランダは常に季節の花や緑が絶えない様にしている。また、ゆず湯、菖蒲湯、七夕・雛飾り、クリスマスツリー等行ないない季節を感じて頂く様努めている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースは居間、食堂、和室が一体化しており、一緒に居ながら好きな場所で過ごせる様になっている。また、少人数で過ごしたい時は畳スペースでくつろいで頂いている。		

岐阜県、グループホーム大洞岐協苑

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>天窓、換気扇、エアコン設備。10～3月は床暖を使用。</p>	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>床は全てバリアフリーで歩きやすく、廊下には手すりが設置してある。浴室は家庭用の設計になっているが、職員の介助で入浴して頂いている。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>個性が出る様好みの暖簾やカフェカーテン、自分の絵を貼っている。自室の理解が時折欠ける人には、表札風に名前を掲げている。</p>	
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダには花や植物を育てている。(園芸サークルにてプランターでの野菜作りにも挑戦中) 現在ツバメの成長する姿を見守りながら水遣りをされる利用者の姿がみられる。ホームの周りには畑もあり、野菜を作っている。</p>	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 グループホーム大洞岐協苑

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)
 自然が豊富な立地の中、利用者それぞれが得意な事(裁縫・絵画・料理等)を意欲的に取り組み生き活きと生活されている。また職員も雰囲気作りに心掛け、毎日を盛り上げ、明るく楽しいホームになっている。併設の施設として行事やサークル活動も活発で交流も多い。またホームでの生活が困難になった場合も臨機応変な対応が可能となっている。花や野菜を育て、金魚を飼い、ベランダにはツバメやスズメが巣を造り、犬も時々遊びに来るという温かく賑やかな一面もあるホームである。